

第6学年 体育〔保健領域〕 「病気の予防」(8時間)

1 単元の目標

- ① 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境などが関わり合って起こることを理解する。
- ② 感染症の予防には、病原体の発生源をなくすこと、病原体が体に入ることを防ぎ、うつる道筋を断ち切ること、病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要なことや、生活習慣病の予防には、栄養に偏りのない食事や口腔の衛生など、健康によい生活習慣を身に付ける必要があることを理解する。
- ③ 喫煙や飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることを理解する。

2 単元の指導計画

- | | | |
|----------------------------|----------------|---------------|
| (1) 病気の起こり方 | (4) 生活習慣病の予防-② | (7) 薬物乱用の害と健康 |
| (2) 感染症の予防 | (5) 喫煙の害と健康 | (8) 地域の保健活動 |
| (3) 生活習慣病の予防-① (本時) | (6) 飲酒の害と健康 | |

3 本時の指導計画

- (1) 本時のねらい
 - ・生活習慣病の原因や体への影響について知り、予防のためには食事や運動などのよい生活習慣を身に付ける必要があることを理解する。
- (2) 健康教育との関連
 - ・少子高齢社会にあつて、健康寿命を延ばすことの重要性が求められているため、生活習慣病の予防に関する学習を通して、生涯にわたり心身の健康を保持増進するために必要な能力の基礎を育てる。
- (3) 本時のテーマ

少子高齢社会の中で、健康寿命を延ばすにはどうしたらよいか。

(4) 本時の展開

主な学習活動・内容	★健康教育との関連で 評価する視点	指導上の留意点
1 生活の仕方が関係して起こる生活習慣病について知っていることを発表する。 ・心臓病 ・糖尿病 ・高血圧 等 2 生活習慣病が身体や周りの人へ与える影響について考える。 ・生命の危機 ・身体の障害 ・リハビリテーション ・介護生活 等 3 健康寿命とそれを延ばすことの大切さを知る。 ・支障なく日常生活を送ることの意義 4 生活習慣病の起こり方とその原因を調べる。 ・心臓や脳の血管が硬くなったり狭くなったりする。 ・不規則な生活 ・偏った食事 ・運動不足 等 5 生活習慣病を未然に防いで、生涯にわたって健康に過ごすためには、どのようにすればよいか話し合う。 ・適度な運動 ・バランスのよい食事 等	★健康寿命とそれを延ばすことの大切さを理解している。 ★将来の社会を支える一員として、生活習慣病の予防に向けて自分ができることを考えている。	・生活習慣病で亡くなる人だけではなく、健康状況が悪化する人もいることに気付かせるとともに、健康寿命を延ばすことの意義について伝える。 ・一度、身に付いた生活習慣は変えにくいので、今からの行動が大切になることを助言する。

第6学年 社会

「私たちの願いを実現する政治」(8時間)

1 単元の目標

- ① 区市町村や都道府県、国による社会保障制度は、地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを調べ、政治は国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを考える。
- ② 身近な社会保障制度の具体的事例について調査したり資料を活用したりして調べ、地方公共団体や国の政治の働きと国民生活との関わりについて考える。

2 単元の指導計画

- | | | |
|---------------------|--------------------------|---------------|
| (1) 高齢者福祉施設と私たちの暮らし | (4) 区の政治の働き | (7) 内閣や裁判所の働き |
| (2) 区の福祉政策と介護保険サービス | (5) 社会保障制度と税金(本時) | (8) 国民生活と政治 |
| (3) 私たちの暮らしと介護保険制度 | (6) 国会の働き | |

3 本時の指導計画

(1) 本時のねらい

- ・介護保険サービスと私たちが納める税金や介護保険料との関係について理解し、社会保障制度と自分との関わり方について考える。

(2) 租税教育との関連

- ・地方公共団体や国の政治の働きにおける租税の役割を正しく理解し、国や社会の在り方を主体的に考えることを通して、納税者としての意識を養う。

(3) 本時のテーマ

将来、納税者としてどのように社会に関わっていくのか。

(4) 本時の展開

主な学習活動・内容	★租税教育との関連で評価する視点	指導上の留意点
1 介護保険制度に関わる費用について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> ・平均寿命の延伸と高齢者の人口増加 ・介護保険の総費用の推移 ・介護保険制度を支える財源 2 介護保険制度との関わりを給付と負担の視点から考え、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・税金や40～64歳の人たちが納める介護保険料によって、介護保険制度は成り立っている。 ・介護保険制度は、世代と世代の支え合いによって成り立っている。 3 税金や介護保険料を納めることの大切さについて考え、自分が将来どのように関わっていくかについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来や社会のためにも働いて、税金や保険料を納めていきたい。等 	★納税や介護保険料の納付の大切さについて考えている。 ★将来の納税者として、社会保障制度への関わり方について考えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の年齢別人口構成や平均寿命の変化などから、高齢者への福祉政策の重要性に気付かせる。 ・社会保障により助け合いの仕組みが成り立っていることについて考えさせるようにする。 ・納税は国民の義務の一つであることを押さえる。

第6学年 社会

「私たちのくらしを守る日本国憲法」(7時間)

1 単元の目標

- ① 日本国憲法には、国家としての理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国民生活にとって大切なことが定められていることを調べ、我が国の民主政治が日本国憲法の考え方に基づいていることを理解する。
- ② 日本国憲法の基本的な考え方に結び付く日常生活の具体的な事象を調査したり資料を活用したりして調べ、国民の権利と義務の行使について考える。

2 単元の指導計画

- | | | |
|--------------------|------------------------|------------------|
| (1) 身近な政治と日本国憲法 | (4) 国民主権と政治(本時) | (7) 憲法の精神の実現に向けて |
| (2) 日本国憲法の基本原則 | (5) くらしの中の平和主義 | |
| (3) 基本的人権と国民の権利・義務 | (6) 天皇の国事行為と国民の祝日 | |

3 本時の指導計画

- (1) 本時のねらい
 - ・選挙は、私たちの生活の安定と向上のために、国民や住民の代表者を選出する仕組みであることを理解し、国民主権につながる参政権の一つである選挙権を確実に行使することの大切さについて考える。
- (2) 主権者教育との関連
 - ・主権者として参政権の重要性を理解し、選挙権を行使して、政治に参加しようとする態度を育てる。
- (3) 本時のテーマ

将来、主権者としてどのように政治に参加していくのか。

(4) 本時の展開

主な学習活動・内容	★主権者教育との関連で評価する視点	指導上の留意点
1 日本国憲法の三原則について想起し、国民主権と選挙とのつながりについて話し合う。 ・国民主権 ・参政権の行使 2 選挙の仕組みについて調べる。 ・公示、告示 ・立候補者の届出・発表 ・選挙運動 ・投票、開票 ・議員の決定 3 投票をする際に、気を付けることや大切だと思ふことを発表する。 ・支持する候補者の考えをよく理解する。 ・自分の政治への願いとの関連を捉える。 4 最近の選挙の動向を調べ、話し合う。 ・投票率の低下 ・改正公職選挙法の成立 5 国民がもつ「一票の重み」の意味について自分の考えをまとめる。	★選挙権を行使することの大切さについて考えている。 ★将来の主権者として、国民がもつ「一票の重み」の意味について考えている。	・日本国憲法の前文と関係付けながら政治における国民の役割を理解させる。 ・選挙の仕組みと児童の日常生活との関わりを関連付けて捉えさせるようにする。 ・改正公職選挙法の成立により、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられることに触れる。